

青田知史町政報告

令和3年11月1日発行 第8号

令和3年度合同所管事務調査（10月21日）

総務文教常任委員会と産業経済常任委員会合同による令和3年度合同所管事務調査が10月21日に行われました。この調査は、地方自治法によって定められている**所管事務調査権**（委員会の所管する事項を調査する権限）に基づいて行われる調査です。

調査は現地に赴いた後、事前に用意された資料や図面を基に担当課から進捗状況を含めて事業についての説明を受けます。その後事業が適切に実施されているのか議員が質問をし、それに対して担当職員が回答していく流れで調査が進められます。

当日は朝から湿った雪が降る中、バスに乗りし町内各所を回り、11の事業（下掲）について調査をしました。今回の調査で特に問題は見受けられませんが、調査の本来的機能である監視的機能だけでなく政策提言にもつながるように、今後もしっかりと努めてまいります。

調査対象事業 カッコ内は事業費

- ① 美沢18線道路改良舗装事業（60,000千円）
- ② 白金観望線転落防止柵改修事業（5,000千円）※右写真上
- ③ 白金地区キャンプ場管理運営事業（4,950千円）
- ④ 白金美瑛線道路改修事業（72,000千円）
- ⑤ 火山情報センター管理運営事業（9,277千円）
- ⑥ 交流促進施設冷暖房改修事業（51,748千円）
- ⑦ 置杵牛農産物加工交流施設管理運営事業（1,508千円）
- ⑧ 産地パワーアップ事業（2,642,343千円）
- ※実施主体：上川生産連
- ⑨ 新星線道路改良舗装事業（50,000千円）※右写真下
- ⑩ 定住促進住宅管理事業（1,346千円）
- ⑪ 美馬牛中学校改修事業（40,132千円）



公式ホームページのご案内

私の町政報告と、日々の議会活動をお知らせするために、公式ホームページを作りました。この町政報告と合わせて町民の皆様と町政の情報を共有したいと考えています。またご意見や、ご質問などありましたら、どうぞお気軽に声をお寄せください。

町政に活力を！ まちづくりに希望を！

aota-tomofumi.com（公式ホームページ）

青田ともふみ公式

検索



QRコードでアクセス

第8号の内容

☆特集：決算審査特別委員会

◆①青田の35の質問

◆②注目した5件の答弁

☆昼下がりのコラム

☆町政の理解を深めるキーワード

☆次号の予告

※この町政報告やホームページの内容は全て議員個人の見解、意見であり、美瑛町議会の見解、意見ではありません。

◆特集 決算審査特別委員会 ①青田の35の質問

10月14日と15日の2日間で開催された令和3年度決算審査特別委員会では、全議員が出席し、令和2年度各会計（合計8会計）の決算について審議されました。

事前に担当課にヒアリングをして質問から外したものもありますが、美瑛町の将来を担う幹部候補生が質問に備えて予習し、分厚い資料を持参して説明員席に臨んでいることもあり、せっかくなのでより多くの質疑をと40件ほど用意し、結果35件の質疑を行いました。

歳入（町の収入）

- ①町税の不納欠損額（徴収の見込みがたたないためその徴収を諦めた額）の処理について【税務課】
- ②下水道料金の不納欠損額の処理について【水道整備室】
- ③水道料金の不納欠損額の処理について損益計算書、貸借対照表上の記載のあり方【水道整備室】

歳出（町の支出） 以下の赤字については、右ページの②注目した5件の答弁に掲載しました。

- ④コロナ禍の職員研修について（旅費・研修旅費・緊急事態宣言下の状況）【総務課】
- ⑤交際費減額、慶弔費増額（予備費からの充用内容）の理由【総務課】
- ⑥**社会保障・税番号制度システム整備事業 マイナンバーカードの交付進捗状況**【総務課】
- ⑦庁舎維持管理事業に関連して総務課のSDGsの取り組み【総務課】
- ⑧公共施設等総合管理計画策定事業 その内容について物足りなくないか？【総務課】
- ⑨防災活動事業 地域防災計画に基づく令和2年度の備蓄状況等【総務課】
- ⑩企業信用調査事業 令和2年度の対象先、調査理由、管理方法等【まちづくり推進課】
- ⑪地域産業連関分析事業 見送りとなった観光調査のタイミングについて【まちづくり推進課】
- ⑫ふるさとdeオフィス事業 当初予算には無かった「報償費」について【まちづくり推進課】
- ⑬戸籍管理事業 委託費増額理由 委託企業との契約締結の方法 守秘義務 選定理由等【住民生活課】
- ⑭蜂駆除事業 費用補助の考え方 土日祝日などの対応方法について【住民生活課】
- ⑮成年後見利用促進事業 制度周知のあり方 養成研修者のフォローアップについて【保健福祉課】
- ⑯障害相談支援センター運営事業 仕事量と配置状況 専門職人材確保の考え方【保健福祉課】
- ⑰保育所等業務効率化推進事業 根拠法令と事業の効果 専門職人材確保の考え方【保健福祉課】
- ⑱家屋評価システム管理事業・路線価付設事業 委託企業選定理由と事業の効果【税務課】
- ⑲農業次世代人材投資事業 事業内容と効果 地域のサポート体制 周知の考え方【農林課】
- ⑳草地畜産基盤整備事業 想定している効果 近代化施設の導入内容 人工授精補助等【農林課】
- ㉑丘のまちなみ活性化協会補助金 決算内容について DMOのあり方【商工観光交流課】
- ㉒富良野美瑛広域観光推進協議会負担金 増額理由と効果、他の圏域との連携等【商工観光交流課】
- ㉓**青い池管理運営事業 令和2年度の自己評価と収支状況**【商工観光交流課】
- ㉔郷土学館管理運営事業・美瑛学推進事業 事業の評価と利用者増加策【文化スポーツ課】
- ㉕町民プール管理運営事業 実績 費用対効果 委託企業と連携したサービス向上策【文化スポーツ課】
- ㉖野球場管理運営事業 早朝の利用について 夜間の利用（ナイター設備）【文化スポーツ課】
- ㉗人づくり育成事業について 申請状況と申請しやすい事業にするための考え方【文化スポーツ課】
- ㉘教職員健康管理事業 メンタルヘルスの取り組みについて【教育委員会管理課】
- ㉙教育専門員管理事業 特別支援教育支援専門員の取り組みについて【教育委員会管理課】
- ㉚キャリア教育推進事業 小中学校の取り組みと医療福祉等の人材確保について【教育委員会管理課】
- ㉛**通級指導推進事業 事業効果と旭川市と連携している「ゆっくらす」について**【教育委員会管理課】
- ㉜図書管理事業 委託料増額の理由とその内容及び効果について【図書館】
- ㉝**丸山公園改修事業 バリアフリー化の内容 ユーザビリティの取り組みについて**【建設水道課】
- ㉞老人保健施設ほの香に貸与している公用車の使用年数と走行距離【老人保健施設特別会計】
- ㉟一般会計からの繰入金額と交付税措置金額について【町立病院事業会計】

② 注目した5件の答弁（町政への提言）

⑥ 社会保障・税番号制度システム整備事業【総務課】

令和4年度末までにマイナンバーカード交付率が100%となるように、令和3年度末までの目標も66.3%と上方修正された。現在30パーセント以上の開きがある。達成困難だと思われるが、未成年への交付を含めて推進し、取得者に対してのBeコイン付与など検討してはどうか。

②③ 青い池管理運営事業【商工観光交流課】

青い池駐車場は経費を差し引いても40百万円程度のプラスになっており、周辺整備のためだけではなく、コロナ禍で苦境にある物産公社が今後も観光振興に寄与していくために、時限的に収益の一部を事業費として活用できるような方策を検討すべきではないか。

③① 「ゆっくらす」（定住自立圏構想 旭川市連携事業）について【教育委員会管理課】

担当課としてあらためて建物の耐震化等について確認していた。そのうえで町の考えもしっかりと伝えている様子が伺えた。この事業に限らず旭川市との提携事業については今後も言うべきこととは言う姿勢で臨んでいただきたい。

③③ 丸山公園改修事業【建設水道課】

バリアフリー化を進めていることはあまり知られていないかもしれないが、取り組みは評価したい。今後も当事者の方の意見を聞くなどし使い勝手を考えて公共施設整備を行っていただきたい。

③⑤ 一般会計からの繰入金額と交付税措置金額について【町立病院事業会計】

町繰入金4億9千万円に対し、約3億3千万円が特別交付税措置となる。当年度の純益は約5千万円。繰越欠損も約1億となった。今後も健全経営を目指し頑張っていただきたい。

昼下がりのコラム 「昭和への郷愁」

「おっ」と思わず声をあげた広報びえい10月号。声を上げたのは、縦を横にするという大胆な発想が面白く、そして私が生まれ育った50年前の本通り商店街が表紙を飾っていたからです。

野村呉服店と思われるお店の前にいる和服姿の二人。私の祖母もよく着物で過ごしていたので、「ばあちゃんかな？」と懐かしみながら眺めていました。小学校に上がる前の私は、兄が小学校から帰ってくる時間になると、この通りを補助輪付きの自転車で行ったり来たり走らせてその帰りを待っていました。少年団活動をするようになると、ソフトボール大会も楽しみでした。終わった後にみんなで食べたジンギスカンも美味しかった。そんなことを思い出した広報びえいでした。

先日の決算審査特別委員会で郷土学館美宙の運営について質問した際に、良い情報を教えてもらいました。12月4日から30日の期間で北海道博物館の「探してみよう地域のお宝」という巡回展が開催されます。期間中の12月18日（土）には、世代間交流を図ることも目的に美瑛町の映像を見てお話をする「地域映像を楽しむサロン」が企画されているそうです。昭和への郷愁を感じた秋の昼下がりには楽しみがひとつ増えました。ぜひ皆様もご一緒しませんか？

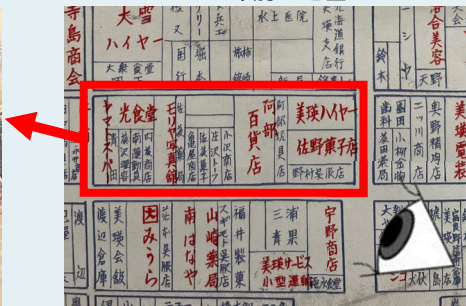
現在の本通り（本町1）風景



50年前の本通り（本町1）風景



50年前の地図



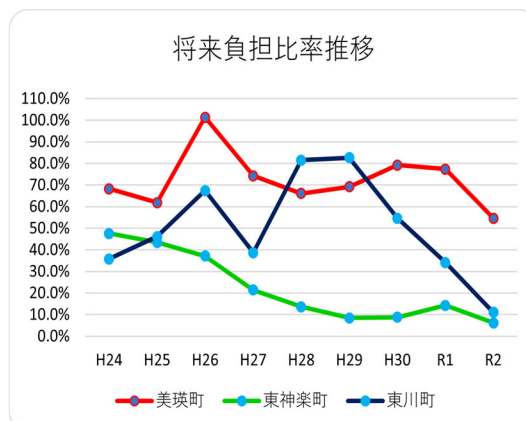
町政の理解を深めるキーワード 「健全化判断比率（4つの指標）」

金融機関に勤める知人から、「誤解されそうな記事です。参考まで」と財界さっぽろ11月号の記事の画像が送られてきたのは10月中旬のことでした。早速購入し読んでみると、「公会計で見る道内市町村」という見出しで、道内自治体の**施設老朽化率**と自治体の借金のボリュームを推し量るための**住民一人当たりの負債額**の指標がランキングになった財政レポートが掲載されていました（数値は2017年実績）。

これによると、建物や道路などの施設設備の老朽化率の目安になる比率（有形固定資産減価償却率）は、62.3%と道内人口1万人～5万人未満（平均60.5%）の35の自治体中21位、住民一人当たりの負債額は159.9万円と35自治体（平均84.9万円）の中で最も負債が大きく最下位の35位となっています。

これらの数字は、美瑛町の公共施設等総合管理計画策定事業も受託した吉岡経営センター（本社札幌市）が取りまとめて、財界さっぽろに提供したものです。

ところで、9月に開催された第4回定例会では、「健全化判断比率及び資金不足比率」についての報告が行われました。健全化の計画を策定する制度を定めた「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」（平成19年法律第94号）に基づき毎年行われているものです。



報告は、①**実質赤字比率** ②**連結実質赤字比率** ③**実質公債費比率** ④**将来負担比率の4つの指標**やその基礎となる事項を記載した書類について、適正に処理されているかどうかを監査委員が審査をして行われます。①と②については、町の決算は黒字。③については、11%（早期健全化基準25%）④の**将来負担比率は54.6%**（同350%）と問題は見られません。ちょうど10月21日に議員協議会があり、その前日に町の財政担当に財界さっぽろの記事を伝えるとともに、見解を求めています。当日の説明では、公債費の償還（返済）も計画に従って行っていること、辺地債や過疎債などの有利な財源も含まれているため金額の多寡で判断するのではなく、将来負担比率を基に行うのが良いのではないかと説明がありました。

冒頭の知人は、この記事で「最近のメディア独特の上滑り記事との印象。実態は公会計の決算からは見えづらい」と。私も同じ意見です。そんなこともあり、近隣の東神楽町、東川町の数値を基にグラフを作りました（右上）。相対的な数値は高いものの、美瑛町（赤）は平成30年度以降の数値が低下しています。いずれにしても今後も財政状況をしっかりと注視していくとともに、12月定例会では財政運営のあり方について一般質問で取り上げたいと考えています。

☆☆☆次号の予告☆☆☆

この町政報告が皆様のお手元に届くころには、衆議院議員総選挙の結果も出ていることと思います。また、10月30日と31日の両日、旭川市のSPRAY（スプレイ）スケートパークで美瑛町の児童生徒を対象に、「スケートボード体験会」を開催しました。私がスケートボードについて議会で取り上げた後に体験会の話が出始め、賛同してくれる方もいて旭川市のスポーツ課やSPRAYの荒井さんの協力により開催することができました。さて、**11月30日に第8回臨時会**が予定されています。来月号はこの臨時会の様子も含めて日刊紙並みのスピードで発行できればと考えていますが、果たしてどうなることでしょうか？町政に関してご意見やご質問などありましたら、お気軽に青田まで声をお寄せください。今後ともよろしくお願いいたします。